

## センター紹介

### 鹿児島県の「近現代」の教育・研究およびその成果の地域への還元

本センターは、旧藩時代から現代に至る歴史的遺産、地域の特徴を有する文化、世界に誇る自然環境など鹿児島県の地域資源を用いた教育研究活動を推進します。具体的には教育研究基盤整備事業と地域マネジメント教育推進事業という二本の柱があり、前者は文字資料・非文字資料を対象に歴史的な視点から研究を推進し、後者は現代的な課題解決のために文理融合、分野横断的技術を駆使し実践的な教育研究に取り組みます。それらの成果を社会実装や地域イノベーション創出として地域へ還元します。「近現代」への歴史的なアプローチによる教育研究の実践とアーカイブス化

教育研究基盤整備事業では、鹿児島県の近現代の様々な史的事象にアプローチし、資料に対して文理双方の技術を駆使して研究を推進します。具体的には、地域に残る一次資料を収集・整理・保存し、これらをデ

ジタル化し、目録やデータベースの作成と公開を行い、多くの人々が民間に埋もれている貴重な資料に触れて活用できるよう、HPから情報を発信します。また、研究の成果を講演会やシンポジウム、出前授業などで広め地域への関心や理解を深めます。以上によって、地域の魅力ある歴史や文化の姿を国内外に発信していきます。

### 研究成果を自治体・産業界・教育界と連携して地域社会に還元

地域マネジメント事業では、鹿児島県ならではの豊かな地域資源を活用した教育研究活動を推進し、その成果を地方公共団体・産業界・地域の住民との連携を通じて社会に還元し、社会実装や地域イノベーションの創出を促します。また、地域の小中高校生、大学生、一般市民に向けた講座や教育プログラムを開発することで、郷土への愛着心を高めるとともに、地域的課題を把握し、その解決と地域の活性化のための取り組みを担う人材の育成に努めます。

## スタッフ紹介

### センター長 丹羽謙治 教授

日本近世文学・文化史専攻。江戸後期戯作文学、遊郭の出版、薩摩藩の出版・編纂物の研究。共編著に『薩摩藩文化官僚の幕末・明治 木脇啓四郎『萬留』一翻刻と注釈一』（岩田書院）

### 副センター長 西村 知 教授

東南アジア経済・開発経済学専攻。フィリピン、フィジー、国内離島の集落経済構造を研究。共編著に『Community Business: Searching for a Regional Concept』（ボーダーリンク）、『The Tokara Islands: Culture, Society, Industry and Nature』（Kagoshima University

International Center for Islands Studies）。

### 鈴木優作 特任助教

日本近現代文学専攻。博士（文学）。鹿児島県の近現代作家や文芸雑誌文化を研究。著書に『探偵小説と〈狂気〉』（国書刊行会）、共編著に『〈怪異〉とミステリ』（青弓社）。

### 日高優介 特任助教

地域マネジメント担当。博士（学術）。社会学の立場から「コミュニティとエネルギー」、「鹿児島県の島々の変化」、「発達障害児支援」などについて取り組んでいます。

### 河野彩子 特任専門員

センターの事務を担当。